

新学術領域「地殻ダイナミクス」2017年全体集会プログラム（口頭発表）

9月24日（日）			
A01	13:00~13:15	代表挨拶・事務連絡	飯尾能久・鷲谷威・西村卓也
A01	13:15~13:35	鳥取県西部と中部における応力場	飯尾能久
A01	13:35~13:55	P波初動データに基づく応力空間パターン推定手法の開発：2000年鳥取県西部地震への適用例	岩田貴樹
A01	13:55~14:15	The 2016 Mw7.0 Kumamoto earthquake, Japan, a rupture along the boundary of crustal porosity	深尾良夫
A01	14:15~14:35	箱根火山における群発地震と地殻流体との関係	行竹洋平
A01	14:35~14:55	2011年東北沖地震後の間隙水圧変化に起因して生じたと推定される東北日本内陸中央部の地震活動の詳細	吉田圭佑
A01	14:55~15:15	東北沖地震後の内陸応力場の時間変化	岡田知己
A01	15:15~15:45	討論：鳥取地殻内の応力・強度と地震活動	
	15:45~16:00	休憩	
A02	16:00~16:20	A02班の研究状況報告	鷲谷威
A02	16:20~16:35	糸魚川-静岡構造線断層帯周辺のGNSS観測と地殻変動	鷲谷威
A02	16:35~16:55	異なる時間スケールの応力擾乱に対する地殻内不均質構造の応答	高田陽一郎
A02	16:55~17:10	coda Q の時空間変化から見た新潟-神戸歪集中帯の成因	平松良浩・道場正伸
A02	17:10~17:30	熱年代学を用いた鳥取山地の隆起・侵食史復元：進行中のプロジェクト概要	田上高広・末岡茂・福田将真・穴倉愛・小林 侑生・他
A02	17:30~17:45	鳥取形成の基本的な力学的要因について	深畑幸俊
A02	17:45~18:00	下部地殻の粘性について：岩石学からの考察	高橋栄一
A02	18:00~18:30	総合討論	
	19:00~21:00	懇親会	

9月25日（月）			
B01	9:00~9:02	はじめに	
B01	9:02~9:20	中央構造線断層帯の発展と軟化	竹下徹・Thomas Czertowicz・Dong Van Bui
B01	9:20~9:45	中央構造線断層帯の発展と内部構造	藤本光一郎・亀田純・香取拓馬・竹下徹・重松紀生・阿部田門・井守智大・稲生千咲・大谷具幸・高橋美紀
B01	9:45~10:15	鳥取西部・熊本地域における断層帯の発達過程、断層帯の鉱物学的特徴	向吉秀樹・内田嗣人・佐野達也・藤内智士・金木俊也・廣野哲朗・小林健太
B01	10:15~10:30	東南極ナビア岩体トナー島における下部地殻条件シュドタキライト生成断層からみた間震期あるいは地震前後の塑性変形作用	豊島剛志・重松紀生・小山内康人・大和田正明・角替敏昭・外田智千
B01	10:30~10:40	マイクロロープ（イタリ）応力計を用いた岩石古偏差応力解析	松村太郎次郎・岡本敦・増田俊明
	10:40~10:55	休憩	
B01	10:55~11:10	議論：地質観察サブグループの成果について	司会： 竹下 徹
B01	11:10~11:25	熊本地震震源域の断層と応力場不均質について	松本聡・山下裕亮・中元真美・宮崎真大・酒井慎一・飯尾能久・2016年熊本地震合同観測グループ
B01	11:25~11:35	鳥取県西部地震震源域における0.1m点観測で見えてくるもの	酒井慎一・松本聡・飯尾能久・加藤愛太郎
B01	11:35~11:45	議論：地震観測サブグループの成果について	司会： 松本聡
公募	11:45~12:00	東北地方太平洋沖地震後の内陸地震活動の推移に関する研究	内田直希・Yan Hu, Roland Burgmann
公募	12:00~12:15	粘土鉱物の真実接合面における摩擦	佐久間博
公募	12:15~12:30	付加体中の海山断片とその下底断層帯	山口飛鳥
	12:30~13:30	昼食	
ポスター	13:30~14:45	ポスター発表（1）	
公募	14:45~15:00	圧力溶解クレープを想定した石英粒界におけるシリカの拡散特性の解明	西山直樹・佐久間博
公募	15:00~15:15	岩石-流体反応の力学応答と流路発展から探る沈み込み帯の透水性と流路連結度	宇野正起
B02	15:15~15:30	熱水式回転摩擦試験機の設計開発	清水以知子・中谷正生・竹内昭洋・廣瀬文洋
B02	15:30~15:45	断層の剪断方向の逆転に伴う組織と強度の応答	大橋聖和
B02	15:45~16:05	M T L 断層帯の摩擦特性	高橋美紀・稲生千咲・亀田純・重松紀生
B02	16:05~16:25	緑泥石の摩擦特性と中央構造線の深部断層強度	岡本あゆみ・清水以知子・André R. Niemeijer・Christopher J. Spiers・荒井駿・竹下徹
B02	16:25~16:40	議論：内陸・沈み込みプレート境界断層の強度モデル	清水以知子（話題提供）
B02	16:40~16:55	休憩	
B02	16:55~17:15	内陸地殻の地震発生深度における塩水-岩石相互作用	星野健一・佐久間 博
B02	17:15~17:35	下部地殻岩石のレオロジーに対する水の効果	木戸正紀・武藤潤・小泉早苗・長濱裕幸
B02	17:35~17:40	カンラン岩体（イタリ）中の小断層における脆性-延性遷移温度	上田匠将・清水以知子
B02	17:40~18:00	議論：煤質の力学物性を入れた鳥取-海溝系の変動モデル構築	武藤 潤（話題提供）
	19:00~21:00	若手向け企画	

9月26日（火）			
B03	9:00~9:05	B03概要説明	
B03	9:05~9:30	首都圏下の二重沈み込み帯の岩石学的イメージング：スラブの変成作用と脱水流体の分布	石川正弘
B03	9:30~9:55	カンラン石細粒多結晶体の焼結と粒成長	坪川祐美子・石川正弘
B03	9:55~10:20	東北中・北部の沈み込み帯最上部マントル抵抗構造（仮）	市来雅啓・小川康雄・海田俊輝 他
	10:20~10:35	休憩	
B03	10:35~11:00	宮城県北部地域の3次元地殻流体分布と地震活動	齋藤全史郎・小川康雄・ほか
B03	11:00~11:25	B03班流体計測グループの研究進捗について	松本 則夫
公募	11:25~11:40	海水に似た塩濃度を持つマントルウェッジの塩水流体は堆積物の間隙水起源の蛇紋岩の脱水流体	川本竜彦・木村純一
公募	11:40~11:55	巨大地震の後に山体下のマグマ溜まりが上昇も下降もすることを説明する実験	並木 敦子
公募	11:55~12:10	付加体を構成する岩体の摩擦強度推定の予察	宮川歩夢・佐藤活志・大坪誠
	12:10~12:30	総合討論	
	12:30~13:30	昼食	
ポスター	13:30~14:45	ポスター発表（2）	
C01	14:45~14:50	C01の研究概要	芝崎 文一郎
C01	14:50~15:10	広域応力場と非平面断層形状のつくる地震発生の複雑さと単純さ	安藤亮輔
C01	15:10~15:30	脆性・塑性遷移域の重要性について	野田博之
C01	15:30~15:50	海陸地殻変動観測に基づく東北地方太平洋沖地震の余効変動とそのモデル化（仮）	飯沼卓史・木戸元之・日野亮太・堀高峰
C01	15:50~16:10	東北アジア地域における2011年東北地方太平洋沖地震の余効変動とレオロジー構造	大園真子・高橋浩晃・Nikolay Shestakov・Mikhail Gerasimenko・Meng Guojie
	16:10~16:25	休憩	
C01	16:25~16:45	山陰ひずみ集中帯の詳細地殻変動	西村卓也・高田陽一郎
C01	16:45~17:05	鳥取内陸における変形・応力場の融合モデル構築に向けて	芝崎文一郎
C01	17:05~17:30	総合討論（融合モデル構築に向けて）	
	17:30~18:00	総合討論	
	19:00~21:00	若手向け企画	